

# インクルーシブ通信

人的交流プロジェクトチーム発行

R7・7号

令和8年1月

小田原支援学校 支援連携部

題字：小田原支援学校 大井分教室生徒作品

## インクルーシブ授業パート3！！

お伝えしてきたインクルーシブ授業について最後に足柄小学校5・6年生の授業を紹介したいと思います。今回は、高学年という事で、学校をリードしていく立場になる子供たちにとって考えていってほしい内容の学習も入っています。5年生は、まず、普段の授業中に困っている事を共有して、それを自分だったらどう乗り越えているのかを確認しました。その後、授業中に「集中力を上げるため」、自分だったらどんな支援グッズを使ってみたいのかを考え、1週間お試しで使うことで、自分や友達がどうしたら集中できるのかを考える機会となりました。6年生では、「公平」や「えこひいき」について学習して、学校全体で取り組んでいる「にこにこ班」での遊びをどうしたらみんなが楽しめる活動になるのか「公平性」を意識しながら考える機会となりました。

### インクルーシブ出張授業

#### ステップ③ 違いを認めて「過ごしやすい」を考える

#### 5年生

#### 「MY集中力UPグッズを探そう」 ～ お互いのことを理解しよう ～



これなら集中できそう！



#### 【めあて】

- ①困った時の対処方法を自分なりに考えることができる。
- ②自分や友達が集中しやすい支援グッズを知り、お互いの違いについて理解を深める事ができる。

#### 【活動の流れ】

- ①授業中での困り感を共有し、「それぞれの困り感について自分だったらどう乗り切っているか」を考える。ワークシートで共有。
- ②学習により集中するための支援グッズを実際に触る。
- ③どんな場面でもどのように使いたいかを考える。
- ④1週間お試し期間で実際に使う。
- ⑤1週間後に振り返りをする（自分が使った感想・友達はどんな場面で使っていたか）

#### ◎はやと先生のこだわりポイント◎

☆「友達との授業中に困っていることを自分だったら普段どのように乗り切っているのか」という問いの答えを、タブレットを通して共有することで友達の困り感や様々な手段を知る良い機会となったよ！！

☆授業後の1週間のお試し期間を作ることで、自分や友達が「いつ」「どのような時」に使っているのかを知る事や、集中・安心（過ごしやすい）につながる手段の選択肢がある事を実感できるよ！



1週間、支援グッズを使ってみて自分や友達が  
がどういう時に集中し  
たいのかを知る機会に  
もなります！

### インクルーシブ出張授業

#### ステップ③ 違いを認めて「過ごしやすい」を考える

#### 6年生

#### 「みんなが楽しめる活動を考えよう(作ろう)」 ～ 「えこひいき」ではなく「公平」に～



#### 【めあて】

- ①様々な子がいることを想定し、みんなが楽しめる(公平)活動を考える事ができる。
- ②「えこひいき」と「公平」について自分なりの考えをもつことができる。

#### 【活動の流れ】

- ①「えこひいき」「公平」「平等」それぞれの言葉の意味を確認する。
- ②「公平」「えこひいき」ジャッジクイズに取り組み。
- ③縦割り班で1～6年生までが「公平」に遊べる鬼ごっこを考える。
- ④発表タイム
- ⑤車椅子の事例を伝え、ふりかえりを行う。

#### ◎はやと先生のこだわりポイント◎

☆4年生の学習をより1歩深めるために「公平」「平等」「えこひいき」の違いを知り、縦割り班活動(1～6年生までで編成されたグループの活動)の際に「みんなが楽しめるための具体的な工夫」について考えることで実践で生かせるようにしたよ！！

☆縦割り班活動の本番で、本授業で考えたワークシートをそのまま持って行って活用できるようにしたよ！！



最高学年として、手加減  
ではなく、自分たちも含  
めてみんなが楽しむため  
にはどういった工夫が出  
来るかを考えます!!